

J A 自己改革推進レポート（J A 鳥取いなば） 7 月号

1. 令和 4 年度教育文化セミナー・「家の光」愛読者拡大運動総決起大会

J A 鳥取いなばは 6 月 2 1 日、鳥取市の同 J A 本店で教育文化セミナー・「家の光」愛読者拡大運動総決起大会を開いた。8 月に横浜市で開かれる家の光文化賞 J A トップフォーラム 2 0 2 2 で同 J A が行う実践報告を発表した。

同 J A 役職員、子会社、女性会ら 4 3 人が参加。協同活動の醸成に欠かせない教育文化活動への取り組みに、意識を高めた。



2. J A 役員・J A 女性会役員との懇談会

J A 鳥取いなば女性会は 6 月 1 4 日、鳥取市の同 J A 本店で J A 役員と懇談会を開いた。女性会役員、J A 役員ら 3 1 人が出席。女性の立場で見た日々の J A 事業について意見を交わした。

懇談会では、各事業や子会社の接客対応、利便性向上について意見が出された。また、J A の意思反映に係る積極的な女性参画の推進や、女性会会員を対象とした協同組合理念の醸成などの学習活動の実施について意見交換を行った。県内で取り組む J A 女性会員の加入促進に向けた連携・支援についても要望した。



3. 令和4年度新規採用職員農業体験研修

J A鳥取いなばは6月10日、鳥取市で今年4月に同J Aに入組した新規採用職員の田植え体験研修を開いた。農業体験を通じて、生産者の苦勞と作物を育てる喜びを体験し、J A職員としての資質向上を図ることを目的に毎年実施しており、同J Aの恒例行事となっている。

地元の生産者で組織する松保地区むらづくり会議が協力し、12人の新規採用職員が12畝の圃場で「ハクトモチ」の苗を植えた。



4. らっきょう産地ボランティア農業体験ツアー

福部らっきょう生産組合とJ A鳥取いなば農業人材紹介センターは、J Aグループ鳥取農業労働力支援協議会および農協観光と連携し、5月23日より農林中央金庫の20～50代の職員30人を3泊4日で鳥取市福部町に援農支援隊として派遣し、出荷最盛期を迎える特産「鳥取砂丘らっきょう」の収穫や根葉切り作業、出荷までを支援した。

また6月12日、同じく福部町において鳥取大学農学部の2回生38人を対象に、ボランティア農業体験ツアーを開催した。産地では、収穫や出荷作業を担う農業労働力の確保が課題となっていることから、学生のアルバイトの選択肢にしてもらおうと企画した。



以上